

## 非化石電力を活用したホットコイルの環境製品宣言（EPD）を国内初取得

このたび当社は、米国の国際的認証機関である UL 社より、非化石電力を活用して製造したホットコイルの環境製品宣言（EPD）を、わが国の鉄鋼業界で初めて取得しました。EPD は ISO が定めるタイプⅢ 環境ラベル（ISO14025）に基づき、製品のライフサイクルが環境に与える影響をまとめたレポートです。第三者による認証を受けた製品の環境情報は、使用者が環境に配慮した製品を購入する上での判断材料として有用であり、近年は Scope3 削減の観点からも活用機会が拡大しています。

今回、当社は建設製品・建設サービスに関する EPD の国際規格である「ISO21930」および、同分野に関する EPD の欧州規格である「EN15804:2012+A2:2019」に準拠した、非化石電力を活用したホットコイルの EPD をそれぞれ取得しました。

電炉鋼材の製造段階において排出される CO<sub>2</sub>は、電力起因が約 7 割を占めるため、非化石電力を活用することで大幅な削減が可能です。2024 年 7 月、当社は低 CO<sub>2</sub>鋼材ブランド「ほぼゼロ」を発表し、非化石電力を活用した鉄鋼製品のカーボン・フット・プリント（CFP）を業界に先駆けて算定し、ご購入いただいた顧客企業に開示しています。今回、当社は低 CO<sub>2</sub>鋼材の環境情報を EPD という形でもご提供し、国内外の幅広いニーズにお応えしていく所存です。

当社は、長期環境ビジョン「Tokyo Steel EcoVision 2050」のもと、今後も環境情報の積極的な開示を進め、自社製品のライフサイクルにおける環境負荷の低減をはかってまいります。



- ・お問い合わせ先：<https://www.tokyosteel.co.jp/contact/>
- ・当社環境 HP（第三者認証）：<https://www.tokyosteel.co.jp/eco/evaluation/>